

備前市事務事業評価表

事務事業名	地場産業支援事業		コード	04-02-03-03
			担当課・係	商工観光課企業誘致係
			担当者	草加道也
事業実施期間	平成12年度		電話	64-1848
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	起業と創造が支えるまちづくり		
	小項目(施策)	工業		

事業について	
目的 (何のために)	耐火物の高付加価値化に関する研究および製造プロセスの変革に関する研究を行っている岡山セラミックスセンターなどの経営を支援し、地場産業の振興、発展を図る。
対象 (誰・何を対象に)	耐火物関連事業者
内容	岡山セラミックスセンターへの補助金の交付

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
補助金交付件数	1件	1件	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	690	間接補助金等		直接事業費	655	間接補助金等	
	人件費	954	受益者負担		人件費	501	受益者負担	
	市債			市債		市債		
合計	1,644	一般財源等	1,644	合計	1,156	一般財源等	1,156	
	合計	0	一般財源等	0				

結果指標	必要人員	0.14人	0.05人
	結果指標名	事業実施件数	事業実施件数
	結果指標量	4件	3件
	対前年比	-	75.00%
結果指標	活動にかかるコスト	1,644,000円	1,156,000円
	単位当たりコスト	411,000円	385,333円
	結果指標名	研究実施件数	研究実施件数
	結果指標量	24件	8件
	対前年比	-	33.33%
	活動にかかるコスト	1,644,000円	1,156,000円
	単位当たりコスト	68,500円	144,500円

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	耐火物の高付加価値化に関する研究および製造プロセスの変革に関する研究を行っている岡山セラミックスセンターなどの経営を支援し、地場産業の振興、発展を図る。
成果指標名	研究実施件数
	式又は説明
	1件以上
成果指標量	17年度 24
	18年度 8
対前年比	-
到達目標値	なし
	到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	耐火物に関する研究、開発を行っている団体への補助であり、市の産業のうち、特に耐火物産業は市の重要な位置を占めており、その研究開発の結果によってはかなりの影響があると考えられることから、補助金の交付は妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	人件費相当の補助金であり、適正な補助金額の算出に務め、コストを削減する。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映しやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E> C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	研究結果を客観的に把握するのが難しい。

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input checked="" type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 1	結果指標量 1以上
結果指標量	1以上	1以上

総合評価	研究結果を客観的に把握し、補助金額等を判定することは非常に難しいが、団体の性格、市の産業構造からも補助金の交付は妥当である。	評価区分 <A~E> C
------	--	--------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	研究結果の客観的な把握	随時	補助金の妥当性の検討